

2021年3月度「あとリエー丁」WEB作品集

作者コメント

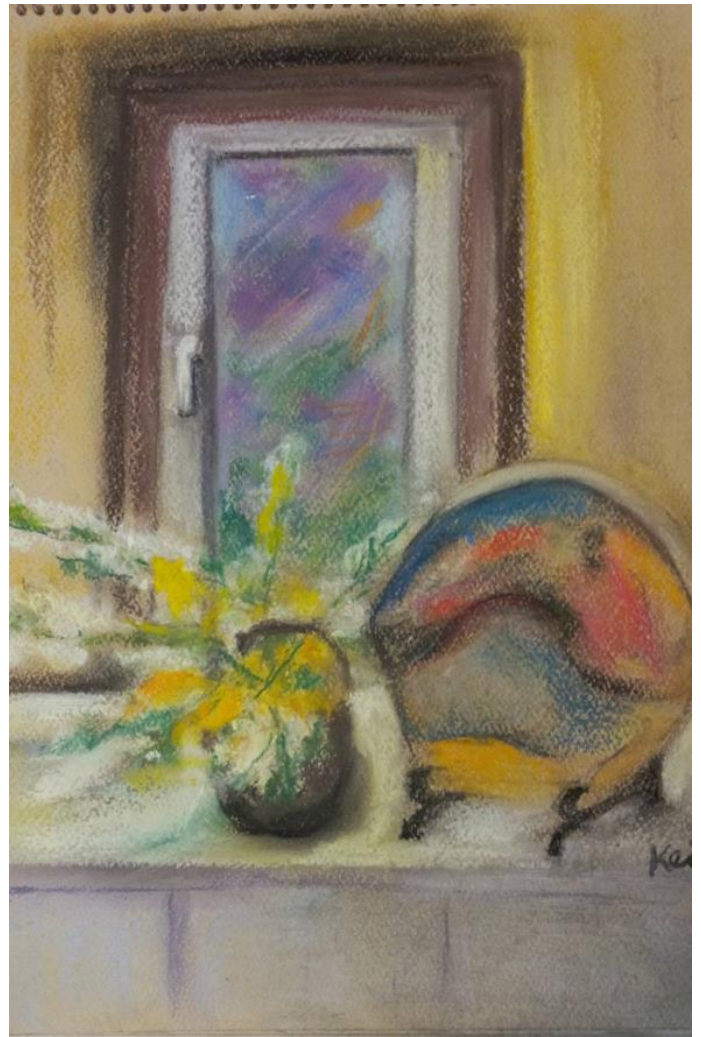
友人宅に絵を描きに行きました。玄関入って、目についた大皿が素晴らしくて描きました。
でも名皿は、絵にならなかったです。

喜田コメント(遠矢作品)

友人の家に絵を描きに行って、玄関に飾ってある皿を描きたいと思う感受性が素晴らしいと思います。
平凡な風景でも感受性の高い遠矢さんが描けば絵になる、という見本です。モチーフをえり好みするより、見た物に感動する心が画家には大切だということですね。
「大皿とミモザとアルミサッシの窓」を絵にして立派です。

喜田コメント(竹前作品)

右の森がホテル・ニューオオタニの庭園、高速道路の向こうの森は北の丸公園でしょうか。大東京のど真ん中にこんな森が在るのかと、びっくりしますね。構図が大胆です。森の樹々はよく描けています。空と水の表現が勝負です。夕方になるまで頑張っただけあって、空も水も変化に富んでいて感心しました。ボート小屋を描いても良かったですね。遠景にうっすらとビル群があってもいいな。



遠矢慶子「窓のある景」F4(パステル)

作者コメント

森の樹々の存在感を表現したかった。
描き始めた時は天空は青空でしたが、夢中になって空や堀の水面に変化を付けているうちに、夕方の風景になってしまいました。



竹前義博「ホテル・ニューオータニの森」F4(水彩・クレヨン)



黒田重雄「信濃川桜堤より」F6(水彩)

喜田コメント(黒田作品)

豊かな八重桜の厚みをマスキングを使って努力して表現しましたね。
赤い八重桜の向こうに冠雪した信濃富士が見えて、作者の感動が伝わってきます。構図的はとてもユニークですが、作者の情熱が構図の不自然さに勝りました。下部に緑の地面と桜の幹を入れたことで作品が呼吸を始めました。

作者コメント

友人に頂いた新潟ワイン、綺麗なラベルなので描きました。薔薇は結婚記念日の主人からのプレゼントです。

喜田コメント(岡田作品)

今回の作品は岡田さんの今までの作品の中でベストです。雰囲気がとても良いのです。雑然とした色使いの中に岡田さんの個性がしみ込んでいます。1本バラを卓上に置いた構図も素晴らしい。気に入った「深雪花」という新潟ワインの瓶のシャープな文字がこの朦朧体の作品をピリッと締めましたね。背景のにじみもカットグラスも面白いです。言う事がありません。



岡田理子「春の予感～薔薇とワインのある風景」F6(水彩)

作者コメント

長野の高山村桜ツアーで信濃川桜堤からみた八重桜と遠景に感激して描きました。八重桜は赤が濃くて桃との区別が難しいモチーフでした。
花の白さを表現ができればとマスキングインクを使って描いてみました。

作者コメント

冷蔵庫にあった、バナナとりんごと伊予柑に小さな青い花瓶に小花を添えて描きました。テーブルに敷物を敷いていたのですが、小花を添えたので、返ってごちゃごちゃすると思ったので省きました。バックとのバランスが難しかったです。



喜田コメント(武智作品)

構図的に大きな破綻はありませんが、欲を言えば、果物の大きさに比べて、花瓶とチューリップが小さいです。花瓶と花をもう少し大きくしたほうがよかった。果物の黄色と背景の黄色、花瓶の青と背景の青、がお互いにクロスして響き合っているのがこの絵の特徴です。もう少し感動を、遊んで描きたいですね。

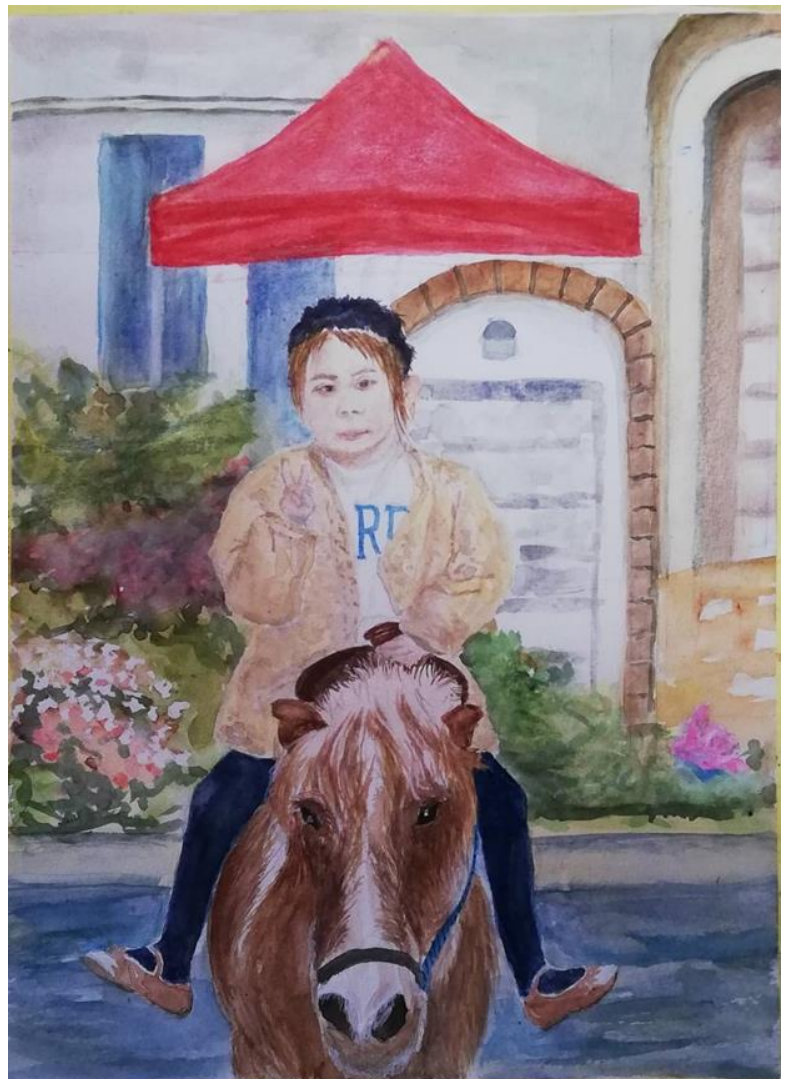
武智康子「フルーツと小花」F4(水彩)

作者コメント

住宅展示会場のイベントで、まもなく一年生、顔を可愛く描くのは難しいですね。

喜田コメント(若林作品)

住宅展示場にある遊園地で初めてポニーに乗ったお孫さんの雄姿ですね。作者のまなざしに愛が満ち溢れています。お孫さんの表情も良い。構図的にはポニーの脚や背景を大胆に切り、孫娘を中央に大きく置いたところが成功しました。可愛いお孫さんの顔をあまり可愛く描き過ぎないのが良いと思います。目元・口元・表情で個性を少し強めに出すのがコツです。ポニーも背景も上手ですが、赤い三角形のテントの存在に違和感があります。しかし、この赤テントがこの絵を面白くしています。絵とは不思議なものです。



若林哲史「孫娘の初乗り」F4(水彩)



月川りき江「梅とお雛さま」葉書サイズ 2 枚(新聞ちぎり絵)

作者コメント

梅の木を作る時、古木の感じを出す為に新聞紙を探し、やっと満足のいくものを見つけました。

お雛様は、顔、髪などを作る時、紙を手でちぎるとぼやけてシマリのない顔になるので、ハサミを使いました。

喜田コメント(月川作品)

弥生三月にふさわしいモチーフを選んでくれました。「梅」の古木の表現、小枝の勢い、そして紅梅の花弁の形、全部素晴らしいです。背景をもう少し工夫すべきだと思います。男雛と女雛のデザインはとても可愛いですね。女雛の衣装のちぎり方は味わいがありますが、男雛の束帯衣装は上下ともに、はさみで切ったシャープな線になっています。総じて、ちぎり絵には、はさみは使わないほうが良いのでは？

喜田コメント(筒井作品)

小さな幸福・誠実、を花言葉に持つ「ビオラ」を描いた誠実な作品です。花卉の繊細な表現、複雑な竹かごの表現など、最高だと思います。強いて言えば

- ①画用紙の中に感動をもう少し大きく描く
- ②葉っぱの色をもっと豊かに(いろいろな色を混ぜて)厚く描く
- ③机はもっと重々しく描く、などです。

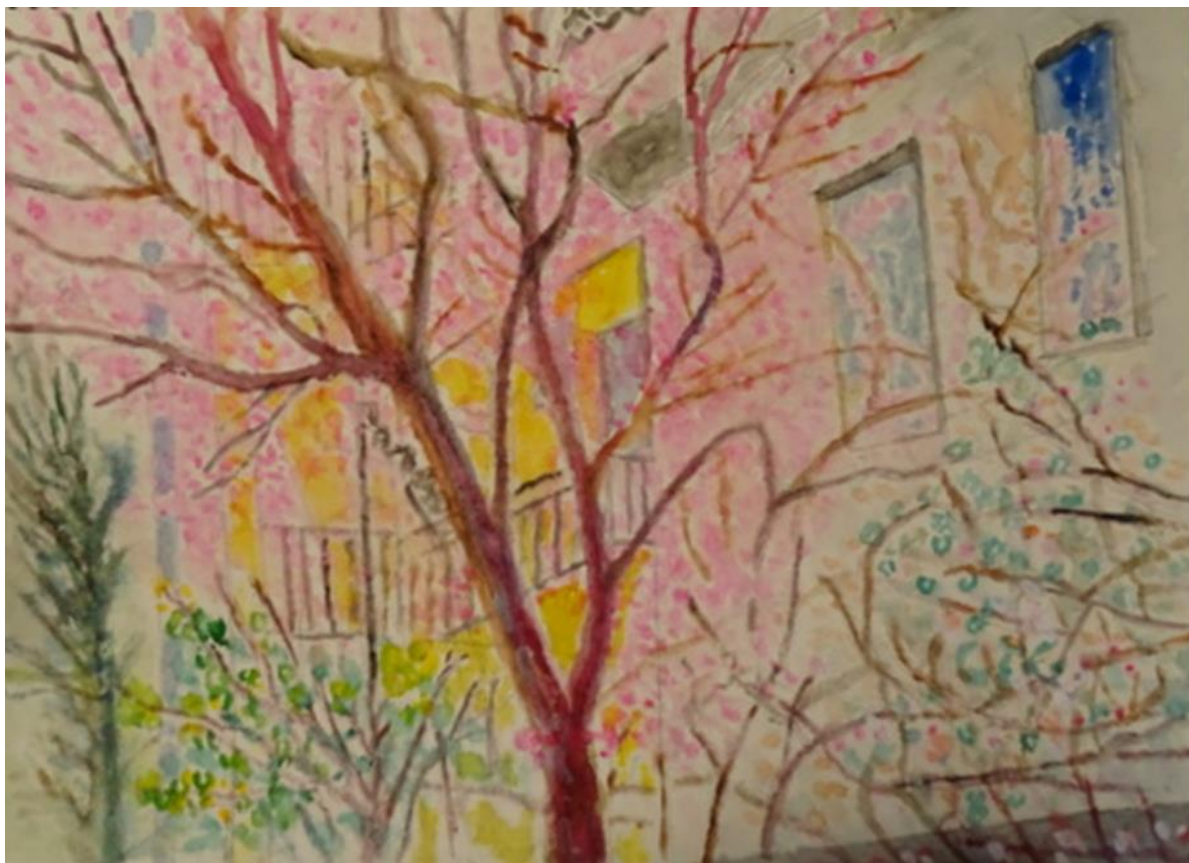
作者コメント

花作りが趣味の家内が、種から大切に育てたビオラが、定植の時期を迎えました。

「小さな幸福」(黄色)、そして「誠実」(紫)が、「ビオラ」の花言葉です。



筒井隆二「ビオラ」F4(水彩)



作者コメント

寒緋桜を主役
に選びました。
背景の建物の
スケッチに苦労
しました。
主役に集中し
て、左右が疎か
になってしま
いました。

井上清彦「寒緋桜」F4(水彩)

喜田コメント(井上作品)

難しいモチーフに良く挑戦しましたね。寒緋桜を中心にいろいろな雑木の生い茂る庭。背景の建物の窓や壁もよく描けています。努力賞を差し上げます。春の暖かさと華やぎが伝わってきます。主題の寒緋桜の花をもっと描きましょう。花びらの塊を強く表現しましょう。主人公はもっと自己主張し、アピールすべきです。

作者コメント

コロナによる
自粛生活に
なって、毎日
午前は散歩
です。必ずス
ケッチブック
と色鉛筆を
携帯します。
その時々の
感動を絵日
記のように
記録してい
ます。



喜田祐三「春の訪れ(散歩スケッチ2)」F3(色鉛筆・あとで水彩)